

リケンテクノス株式会社

2020年3月期上期
(2020年3月期 第2四半期)

決算説明会

2019年11月14日

目 次

- 決算概要
- セグメント別概況
- 3カ年中長期経営計画進捗



決算概要

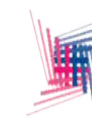


2020年3月期 上期 連結業績サマリー

単位：百万円、円

科 目	2020年 3月期上期	2019年 3月期上期	前年同期比	増 減 率	2020年 3月期上期 業績予想	達 成 率
売 上 高	49,541	47,252	+2,289	+4.8%	50,000	99.1%
売上総利益	8,867	8,560	+307	+3.6%	-	-
営業利益	2,753	2,705	+48	+1.7%	2,800	98.3%
経常利益	2,770	2,777	▲7	▲0.3%	2,800	99.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,432	1,606	▲174	▲10.8%	1,300	110.2%
1株当り利益	22.15	25.04	▲2.89	▲11.5%	20.01	110.7%
R O S	5.6%	5.7%	▲0.1%	-	5.6%	-

※ 過去最高



開示セグメントの変更

製品にとらわれず市場別にグローバル戦略を構築することで、
よりの確に市場ニーズに応えてまいります。

プロダクトアウト

旧セグメント

コンパウンド

フィルム

食品包材

マーケットイン

新セグメント ※()内は略称

ターゲット市場

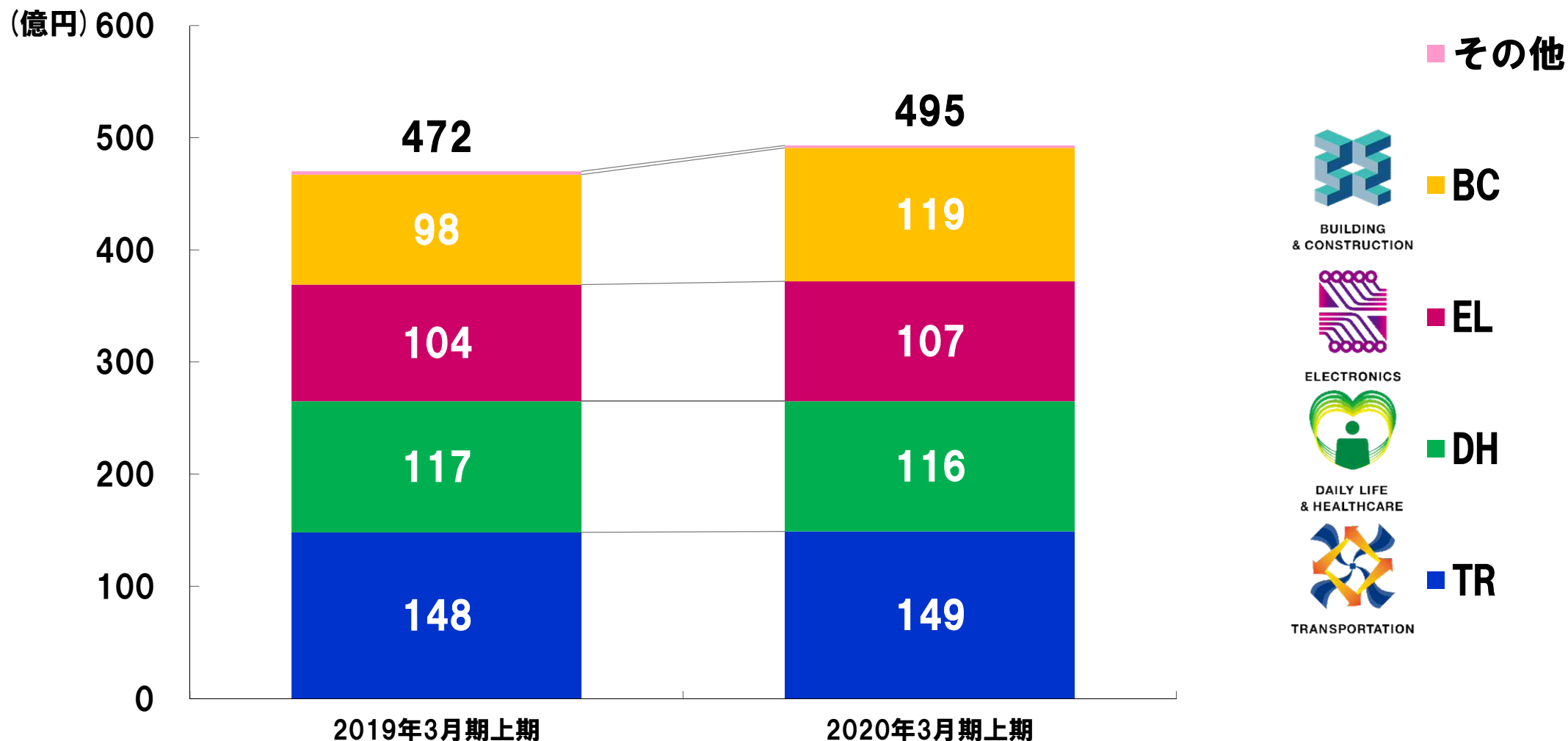
 TRANSPORTATION Transportation (TR)	自動車、鉄道、船舶市場等
 DAILY LIFE & HEALTHCARE Daily Life & Healthcare(DH)	医療、生活資材、食品包材市場等
 ELECTRONICS Electronics (EL)	エネルギー、情報通信、IT機器市場等
 BUILDING & CONSTRUCTION Building & Construction (BC)	住宅、ビル、建築資材、土木市場等

セグメント別売上高推移

2020年3月期上期 売上高

495億円

前年同期比2,289百万円増(4.8%増)



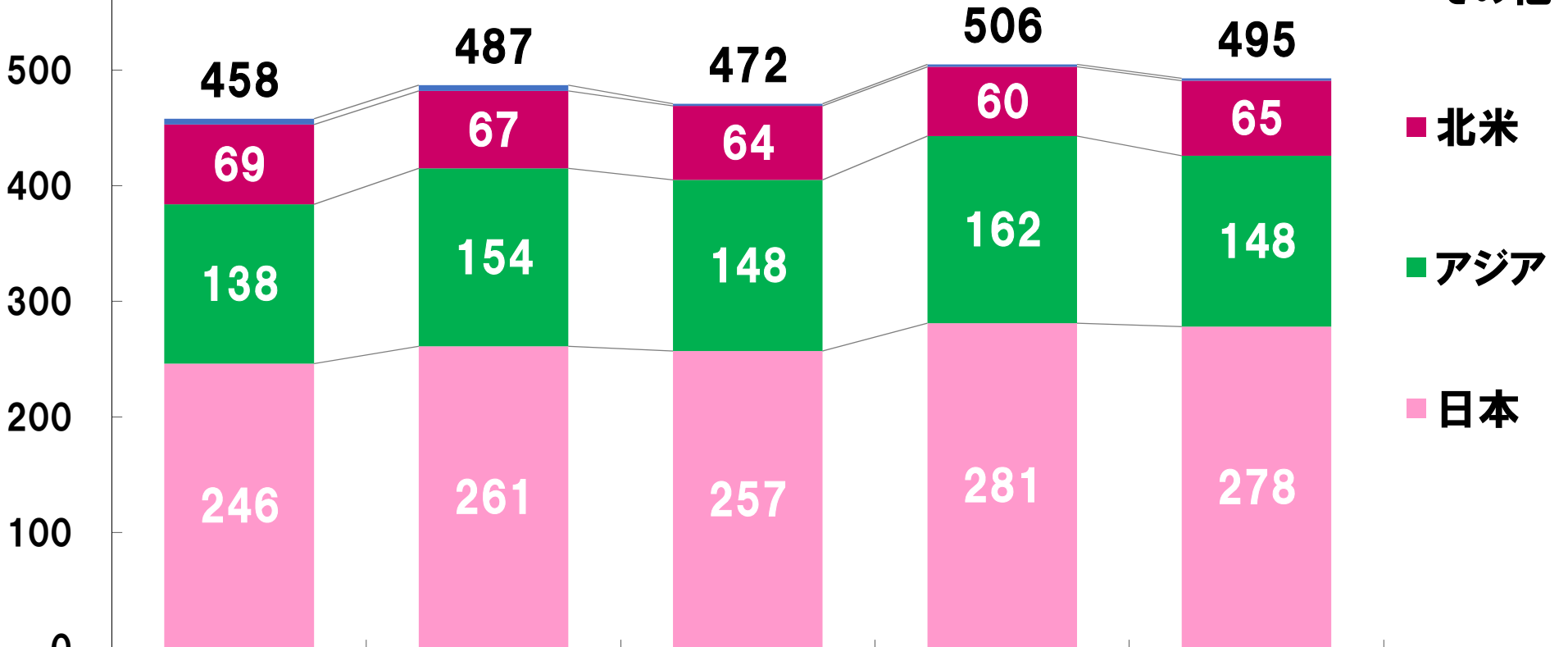
地域別売上高推移

2020年3月期上期 売上高

495億円

前年同期比2,289百万円増(4.8%増)

(億円) 600



海外
売上高比率

2018年
3月期上期
46.3%

2018年
3月期下期
46.4%

2019年
3月期上期
45.6%

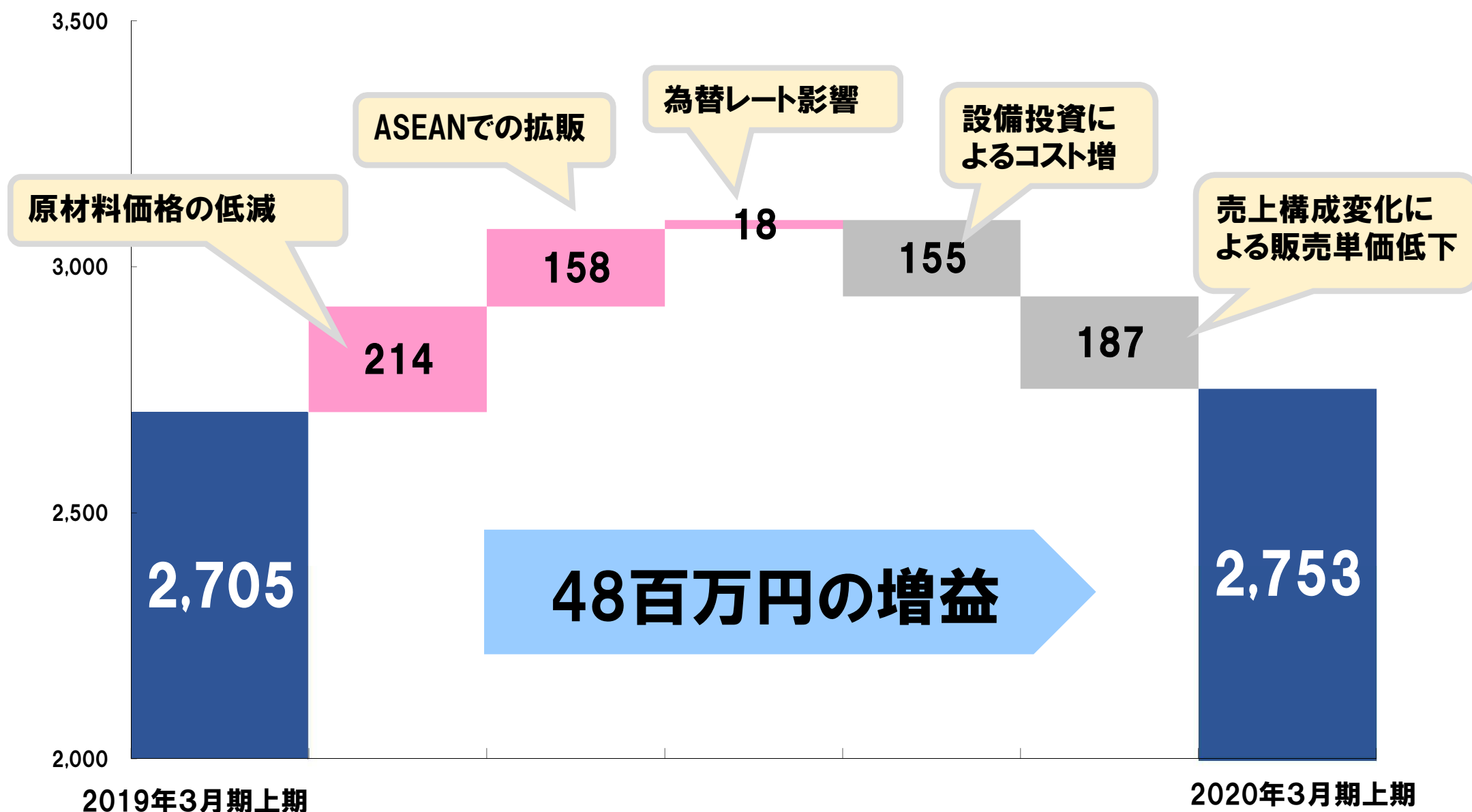
2019年
3月期下期
44.4%

2020年
3月期上期
43.7%



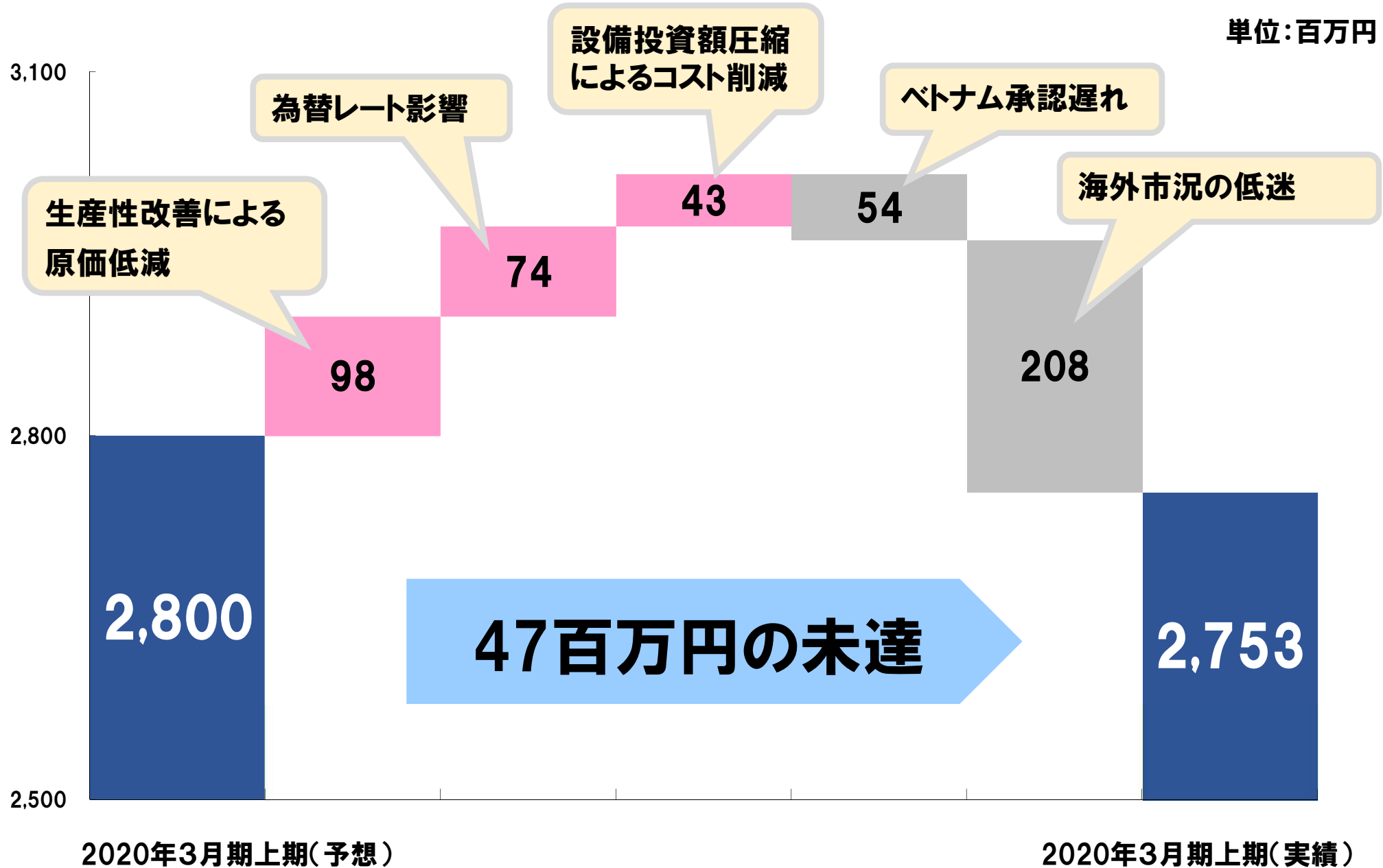
営業利益 前期比 増減要因分析

単位:百万円



営業利益 予想比 増減要因分析

単位:百万円



連結貸借対照表 キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

資産合計

94,102百万円

前期末比 1,105百万円減

流動資産 57,165百万円

固定資産 36,937百万円

負債合計

37,331百万円

前期末比 1,397百万円減

純資産合計

56,771百万円

前期末比 292百万円増

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	当期	前年 同期比
営業 C F	4,185	▲164
投資 C F	▲703	+1,297
財務 C F	▲2,564	▲1,778
増減額	889	▲474
期末残高	17,925	+1,906

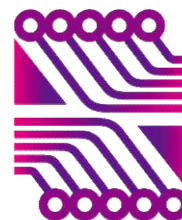
セグメント別概況



TRANSPORTATION



DAILY LIFE
& HEALTHCARE



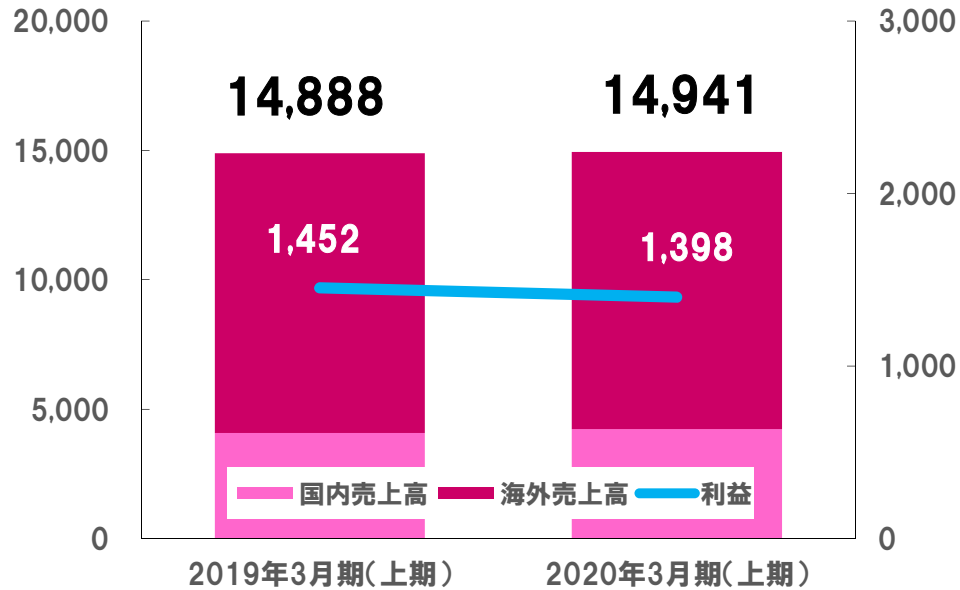
ELECTRONICS



BUILDING
& CONSTRUCTION

※次ページ以降の2019年3月期のセグメント別数値は監査前です。

I Transportation (TR)



2020年3月期上期

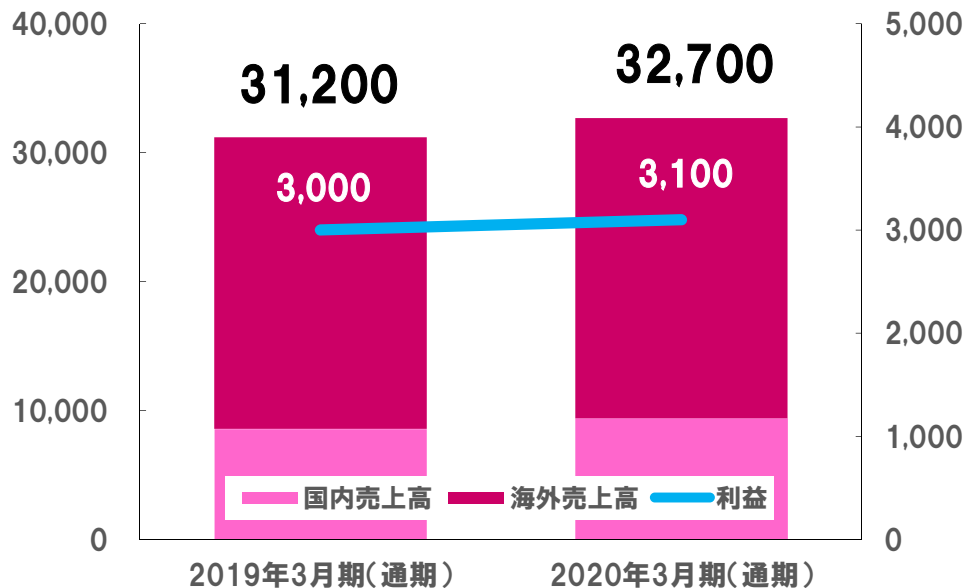
52百万円増収

53百万円減益

前期比0.4%増

前期比3.7%減

- 国内では、自動車市場が堅調に推移し、エラストマーコンパウンドを中心に増収
- 海外では、北米及び中国における市況低迷を受け、塩ビ・エラストマーコンパウンド共に低調に推移し、減収
- セグメント利益は、ASEANでの設備投資に伴うコスト負担増加の影響もあり減益



2020年3月期業績予想

1,500百万円増収

100百万円増益

前期比4.8%増

前期比3.3%増

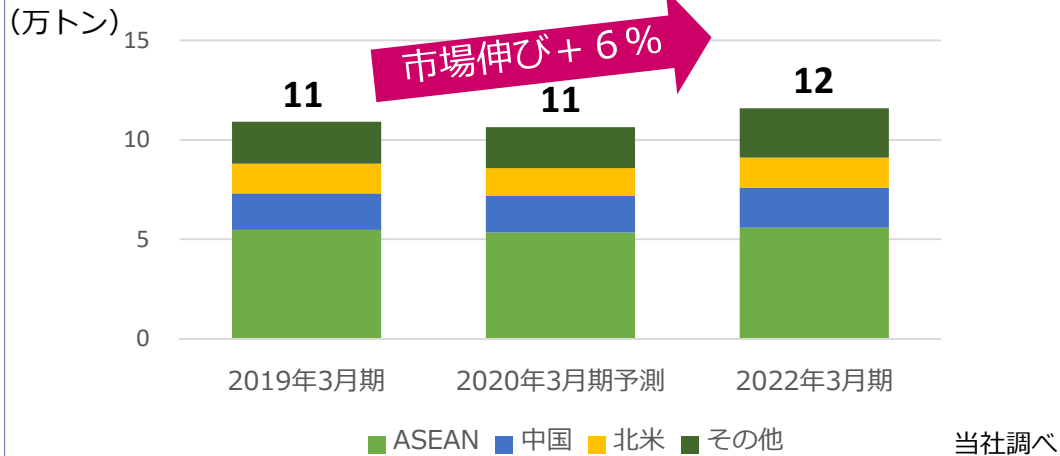
- 国内では、導入した新ラインを活用し、機能部材及びシール部材用エラストマーコンパウンドの拡販
- 海外では、自動車用薄肉絶縁材用塩ビコンパウンドの拡販

I Transportation (TR)

重点分野① 自動車用電装

市場動向 (予測)

日系ワイヤーハーネスメーカー地域別コンパウンド使用量



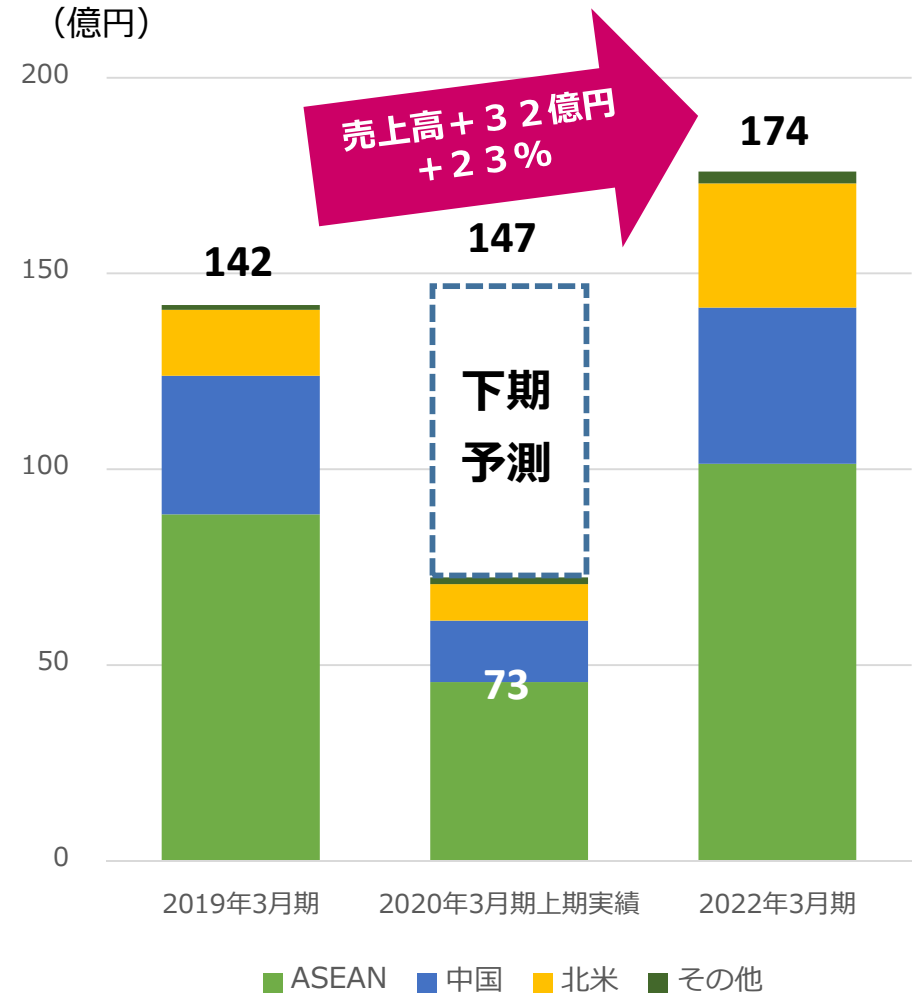
上期実績

- ・ 薄肉絶縁材用塩ビコンパウンドのグローバルでの拡販実現及び新規顧客の開拓

今後の施策

- ・ ASEANを中心に、軽量化ニーズに対応した薄肉絶縁材用塩ビコンパウンドの拡販及び新規顧客獲得により、3年後市場の成長を上回る売上増を実現

ワイヤーハーネス用コンパウンド売上高



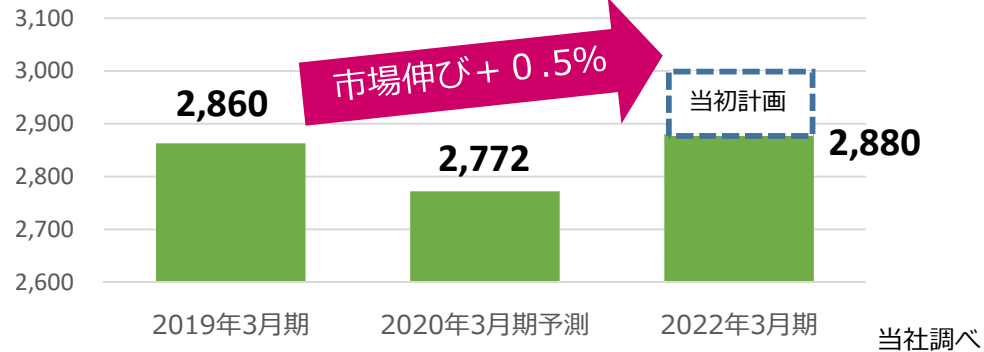
I Transportation (TR)

重点分野② 自動車用成型部材

市場動向 (予測)

日系自動車生産台数

(万台)



上期実績

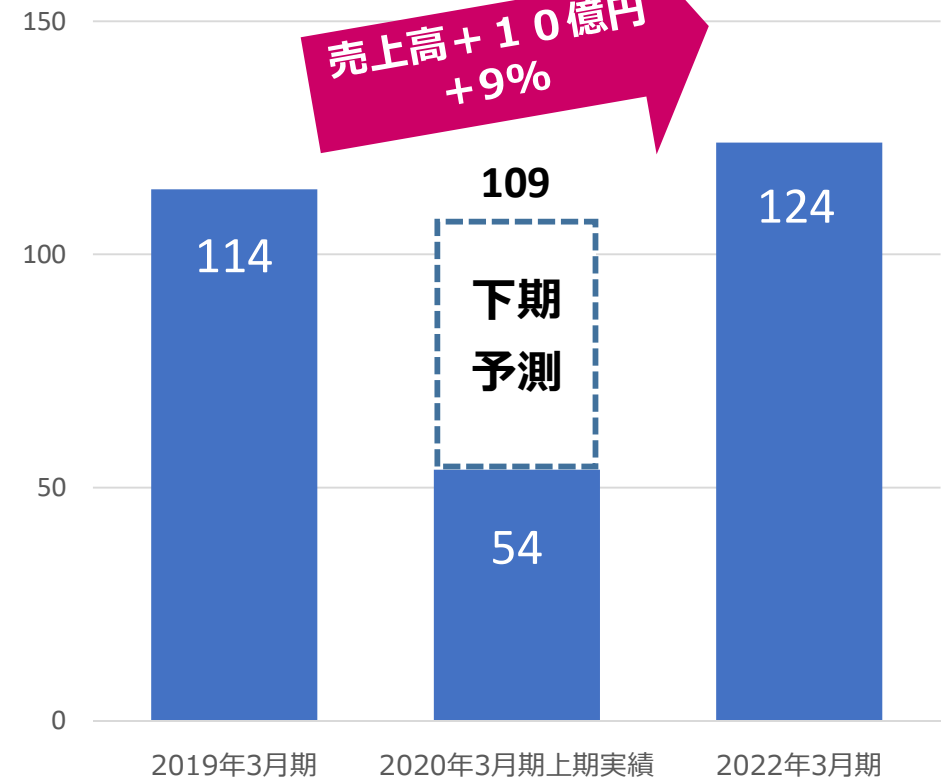
- ・国内では、機能部材及びシール部材用のエラストマーコンパウンドの拡販
- ・海外では、シール部材の新規拡販及び機能部材顧客の開拓

今後の施策

- ・国内では、ゴム代替等の機能部材用エラストマーコンパウンドの拡販
- ・海外では、シール部材用エラストマーコンパウンドの国内への販売実績を武器に、ASEAN・インド・中国・北米市場において拡販

自動車内外装コンパウンド売上高

(億円)

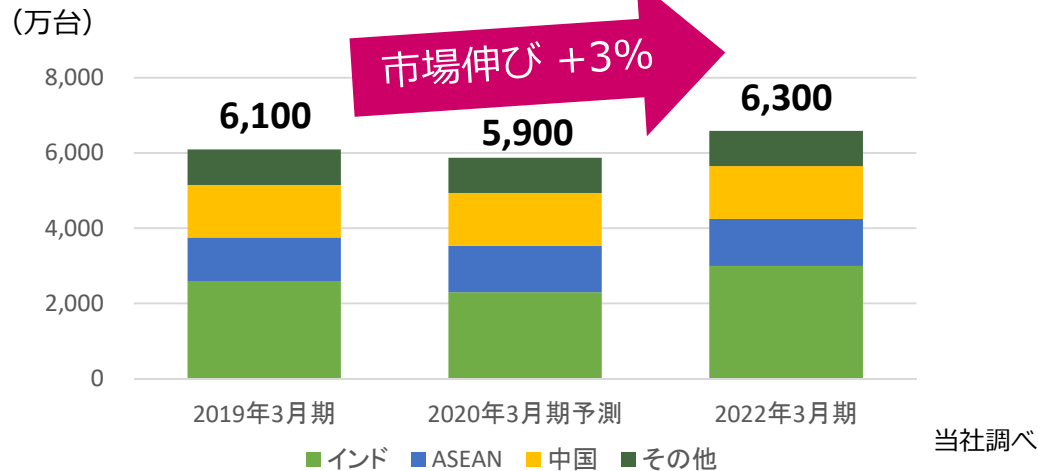


I Transportation (TR)

重点分野③ 2輪車用部材

市場動向 (予測)

2輪車生産台数



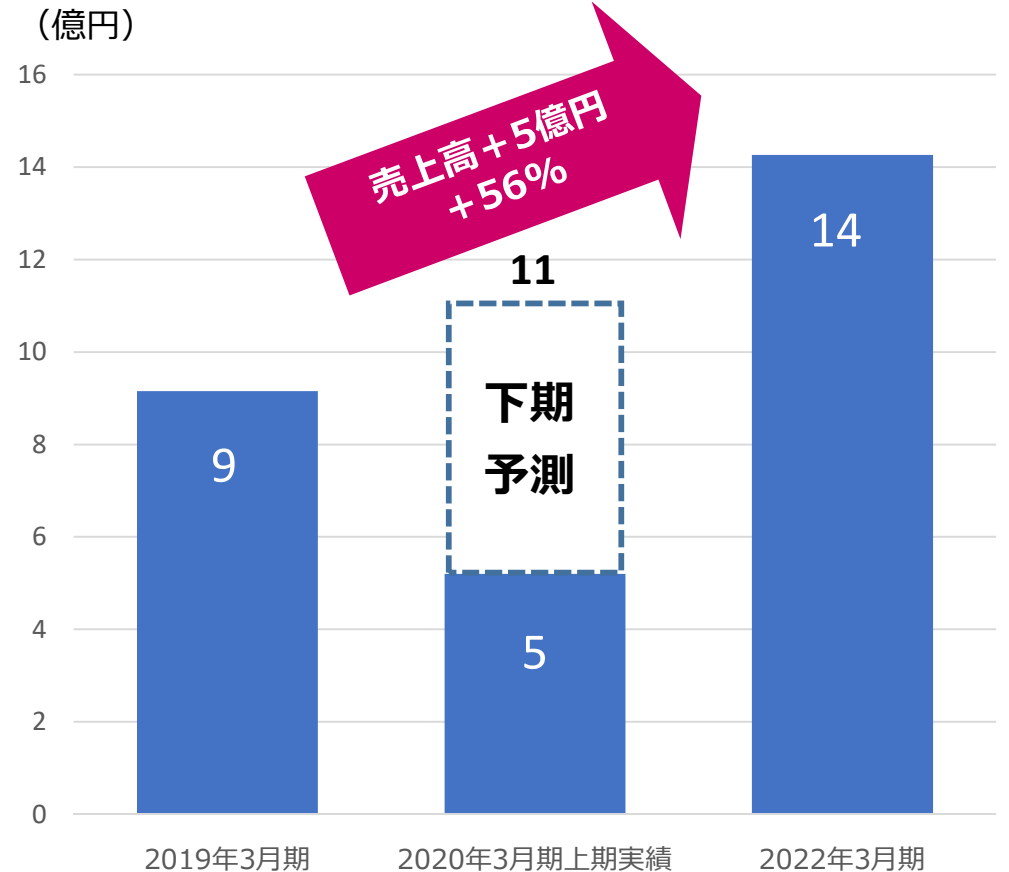
上期実績

- ・インドネシア市場が好調で増収
- ・日系2輪車向け販売実績を元にベトナムでの拡販が進む
- ・インド市場等グローバルに提案を進め新規顧客の獲得に注力

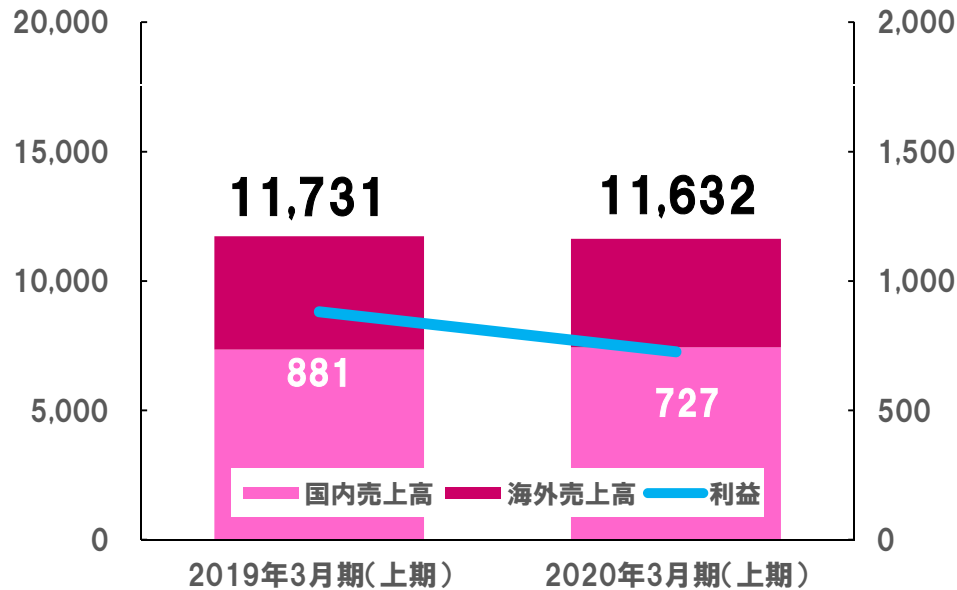
今後の施策

- ・日系2輪車向けの販売実績を元にタイ・ベトナム・インド等の未開拓市場での拡販

2輪車用部材コンパウンド売上高



Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)



2020年3月期上期

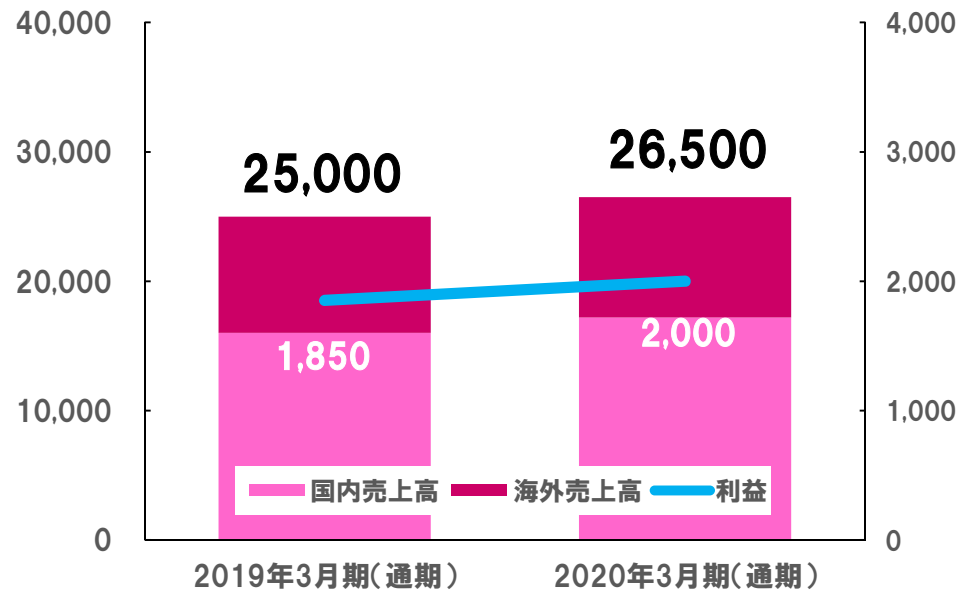
99百万円減収

154百万円減益

前期比0.8%減

前期比17.5%減

- 国内では、生活資材市場向け塩ビコンパウンド及び食品包材市場の小巻ラップの拡販が進み増収
- 海外では、ASEANの一部地域における生活資材市場での競争激化により減収
- セグメント利益は、全体の販売数量減少により減益



2020年3月期業績予想

1,500百万円増収

150百万円増益

前期比6.0%増

前期比8.1%増

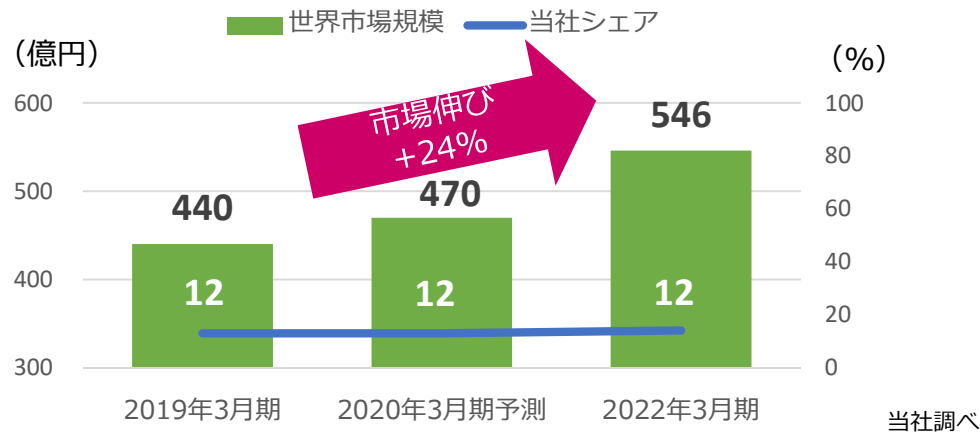
- 国内では、食品包材市場の業務用ラップ、医療用エラストマーコンパウンド及びフィルムの拡販
- 海外では、ASEANの医療市場及び生活資材市場での塩ビコンパウンドの拡販

Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

重点分野① 医療用

市場動向 (予測)

医療用透析回路材料市場



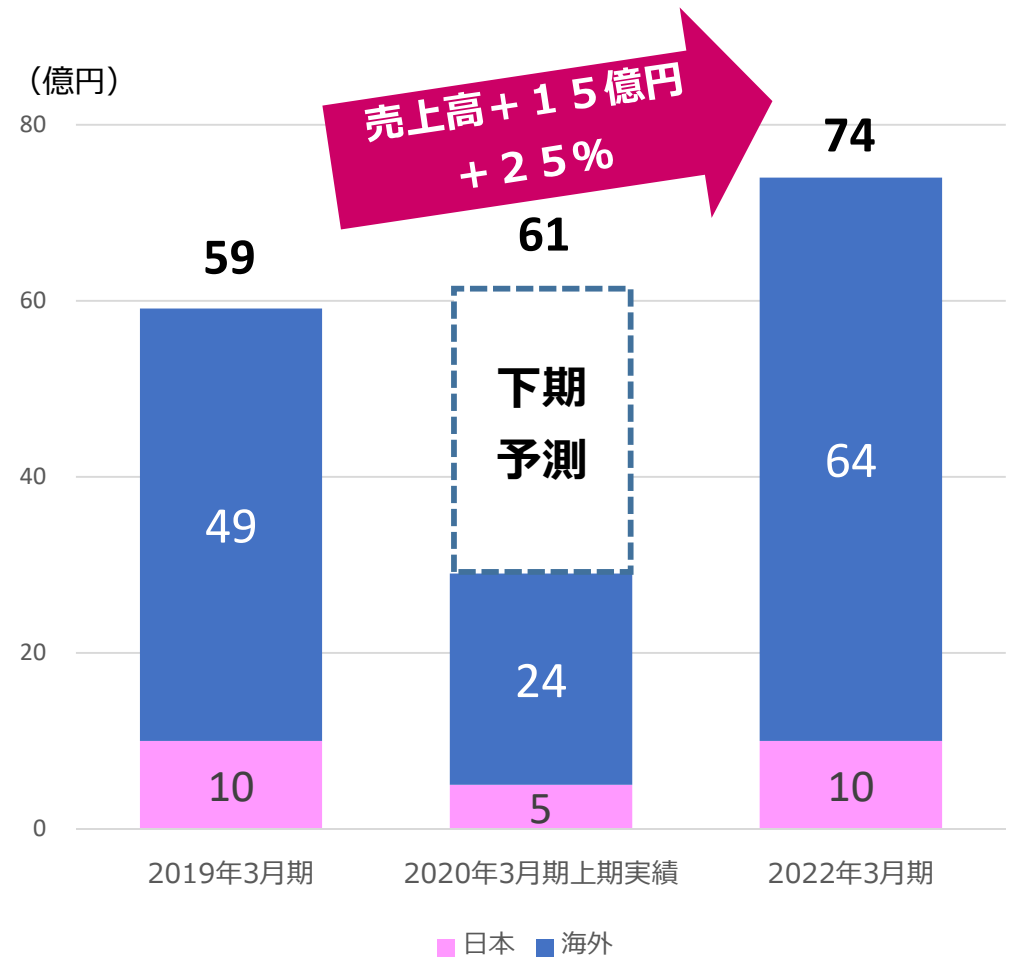
上期実績

- ・国内では、高付加価値エラストマーコンパウンドの新規顧客獲得及びフィルムの販売開始
- ・海外では、ASEAN日系顧客へ拡販

今後の施策

- ・国内では、高付加価値エラストマーコンパウンド及びフィルムの拡販
- ・海外では、ASEAN日系顧客の増産に対応した拡販及びグローバル非日系顧客の新規開拓

医療用コンパウンド・フィルム売上高

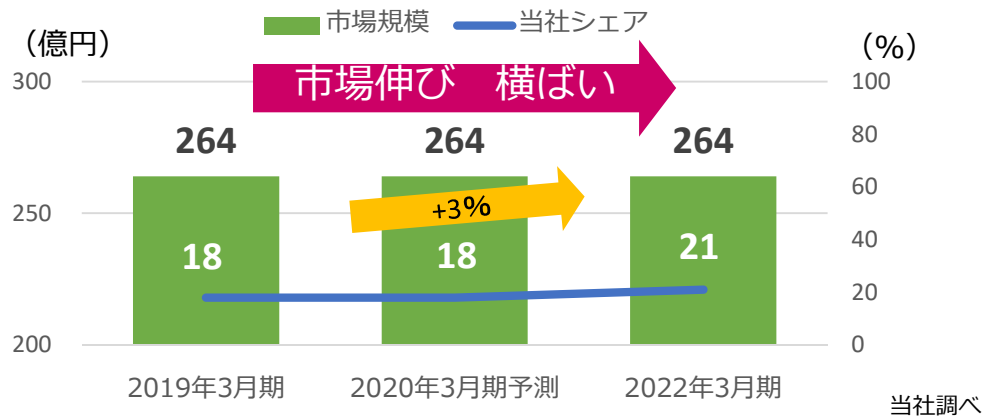


Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

重点分野② 食品包材

市場動向 (予測)

日本の業務用ラップ市場 (食品用途ストレッチ・シュリンクフィルム)



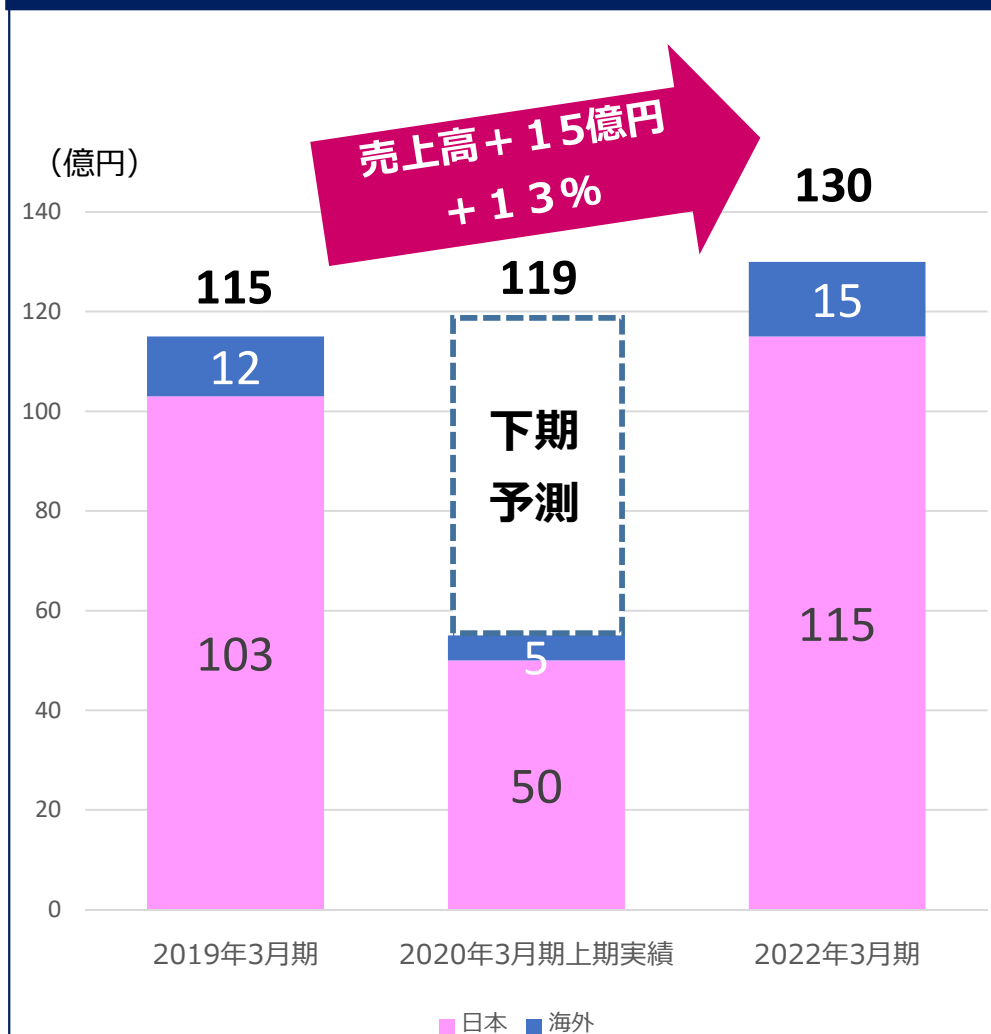
上期実績

- ・国内では、小巻ラップの外食チェーン向け新規拡販により増収
- ・海外では、業務用ラップの新規顧客開拓

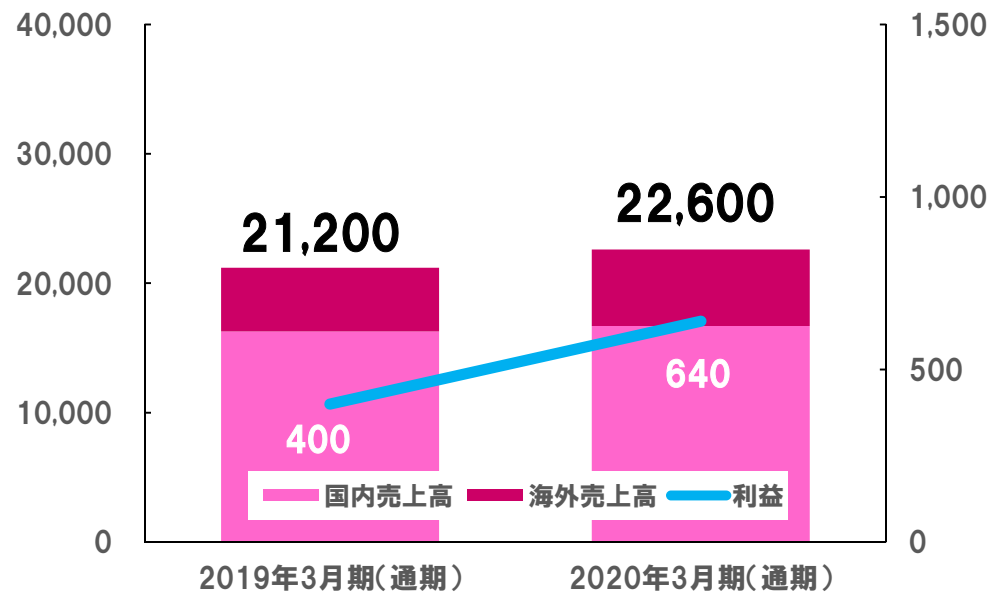
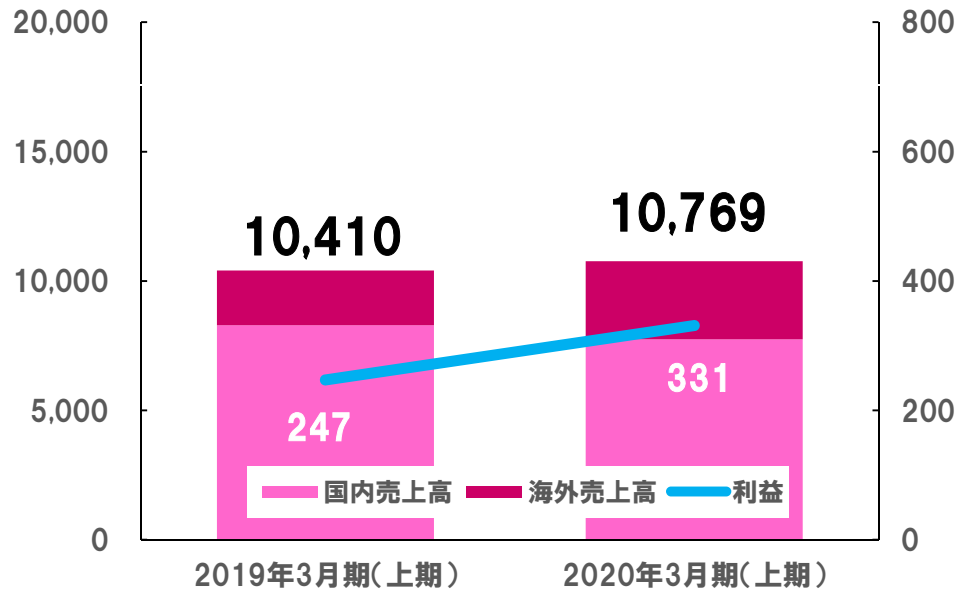
今後の施策

- ・包装機メーカーとの連携した業務用ラップのグローバル展開
- ・国内小巻ラップの新規拡販継続
- ・国内3拠点と海外1拠点の供給能力を活かした需要の取り込み

食品包材売上高



III Electronics (EL)



2020年3月期上期

358百万円増収

84百万円増益

前期比3.4%増

前期比34.1%増

- 国内では、エネルギー、情報通信市場でのエラストマーコンパウンドの拡販進むも、光学フィルムは前期の新モデル立上げ時の数量に及ばず、全体としては減収
- 海外では、中国は景気減速で減少も、インドネシア及び米国で電線分野の販売増により増収
- セグメント利益は国内エラストマーコンパウンドの数量増により増益

2020年3月期業績予想

1,400百万円増収

240百万円増益

前期比6.6%増

前期比60.0%増

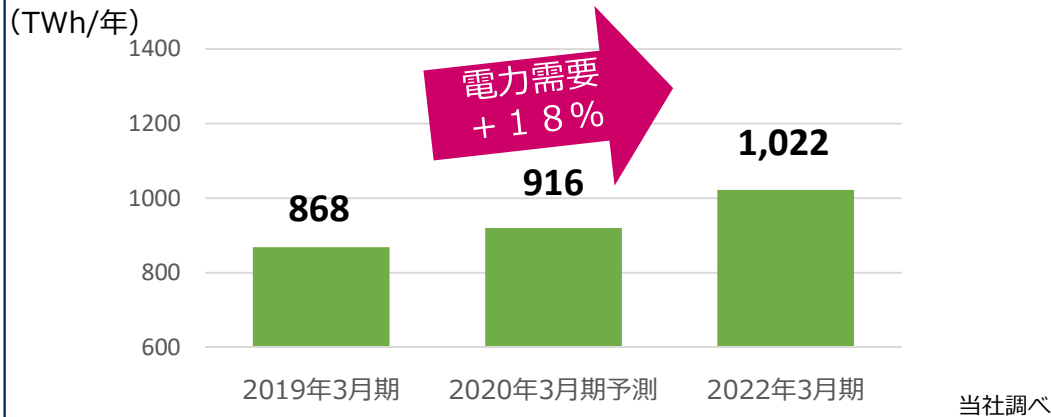
- 国内では、光学フィルムの拡販、及び塩ビコンパウンドのシェアアップ
- 海外では、米国の電線分野での拡販、及びEV用充電ケーブル用コンパウンドの拡販

III Electronics (EL)

重点分野① 電力・通信インフラ

市場動向 (予測)

ASEAN電力需要



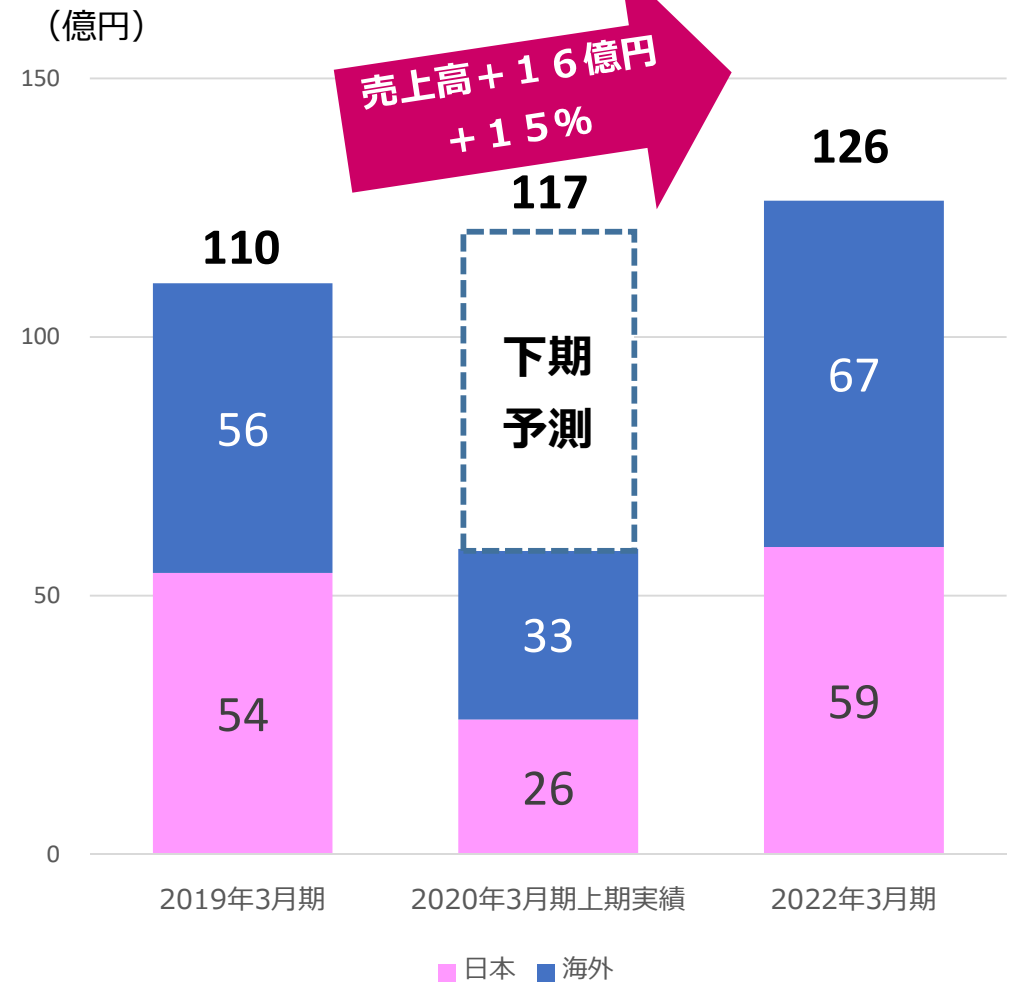
上期実績

- ASEANにおけるインフラ系電力ケーブル用コンパウンドの拡販

今後の施策

- 国内では、高品質・安定供給を武器にシェアアップ
- 海外では、ASEANにおける新規インフラ系電力ケーブル用コンパウンドの未開拓地域への拡販

電線用コンパウンド売上高

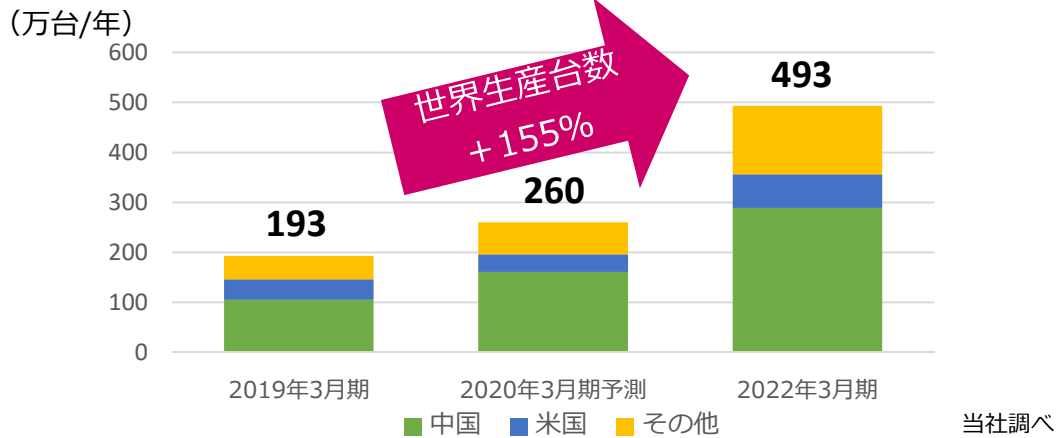


III Electronics (EL)

重点分野② 自動車周辺インフラ

市場動向 (予測)

EV/PHV生産台数



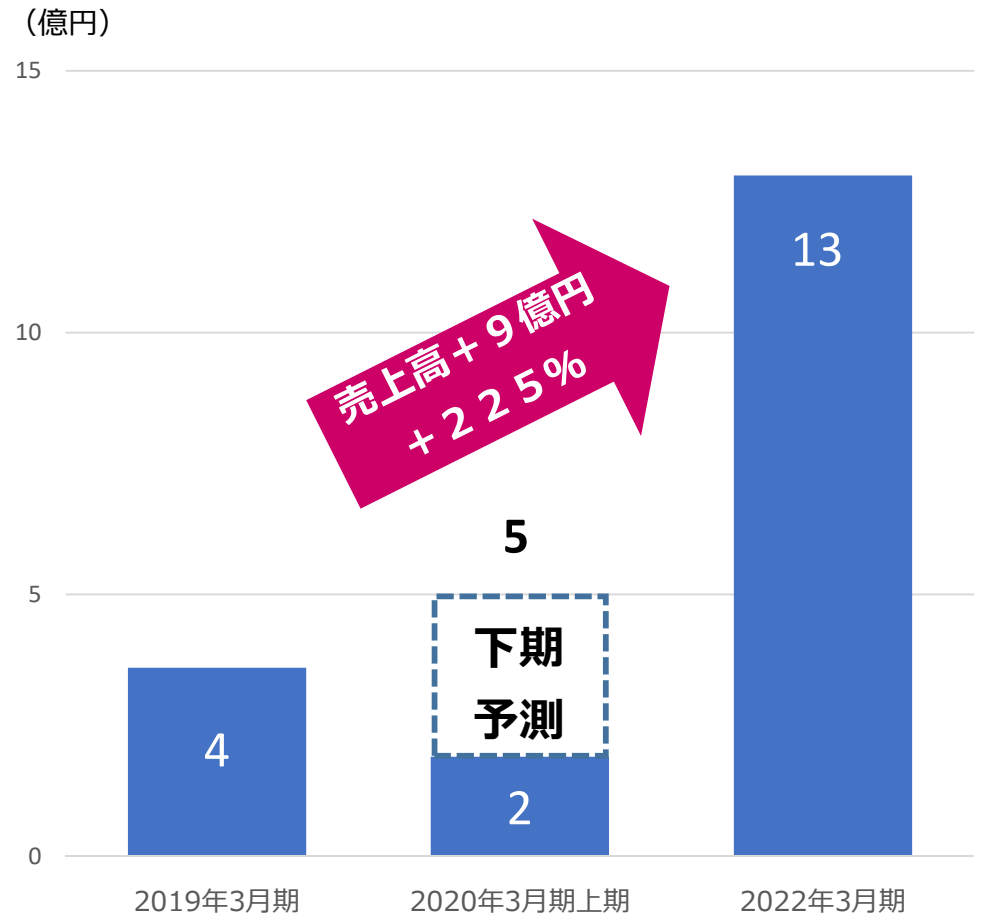
上期実績

- ・充電ケーブル用コンパウンドの新製品開発終了、EV化が急速に進展してきた中国市場に対し展開中

今後の施策

- ・充電ケーブル用コンパウンドの更なる拡販
- ・センサーケーブル用コンパウンドの拡販

充電・センサーケーブル用コンパウンド売上高

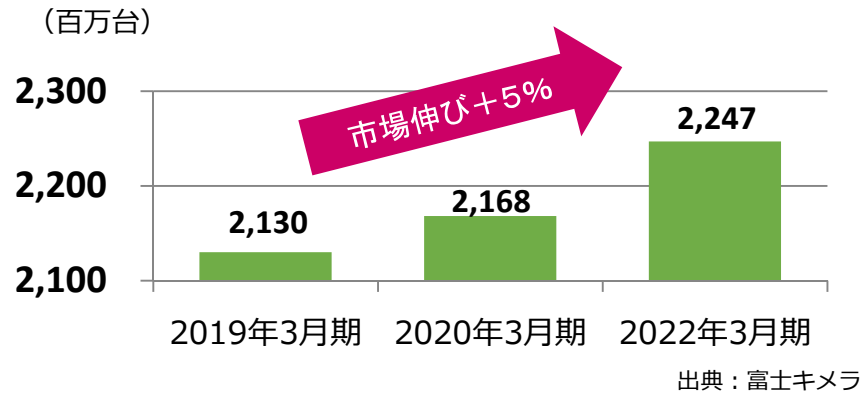


III Electronics (EL)

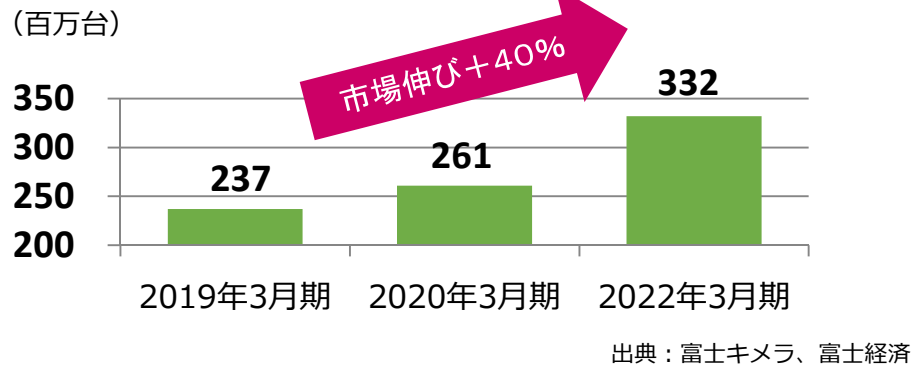
重点分野③ 光学フィルム(1)

市場動向(予測)

モバイル市場



非モバイル市場 (車載EV・産業)



ターゲット用途例

◆車載用



差別化製品開発
(例) 高硬度3Dグレード、
AG、AR、遮熱、高耐候、防曇

◆産業用



III Electronics (EL)

重点分野③ 光学フィルム(2)

上期実績

- ・既存モバイルは堅調推移、次期モデル基礎開発完了
- ・車載向け技術複合化・差別化開発に目途
- ・グローバル展開ユーザーへ産業モニター用途採用

今後の施策

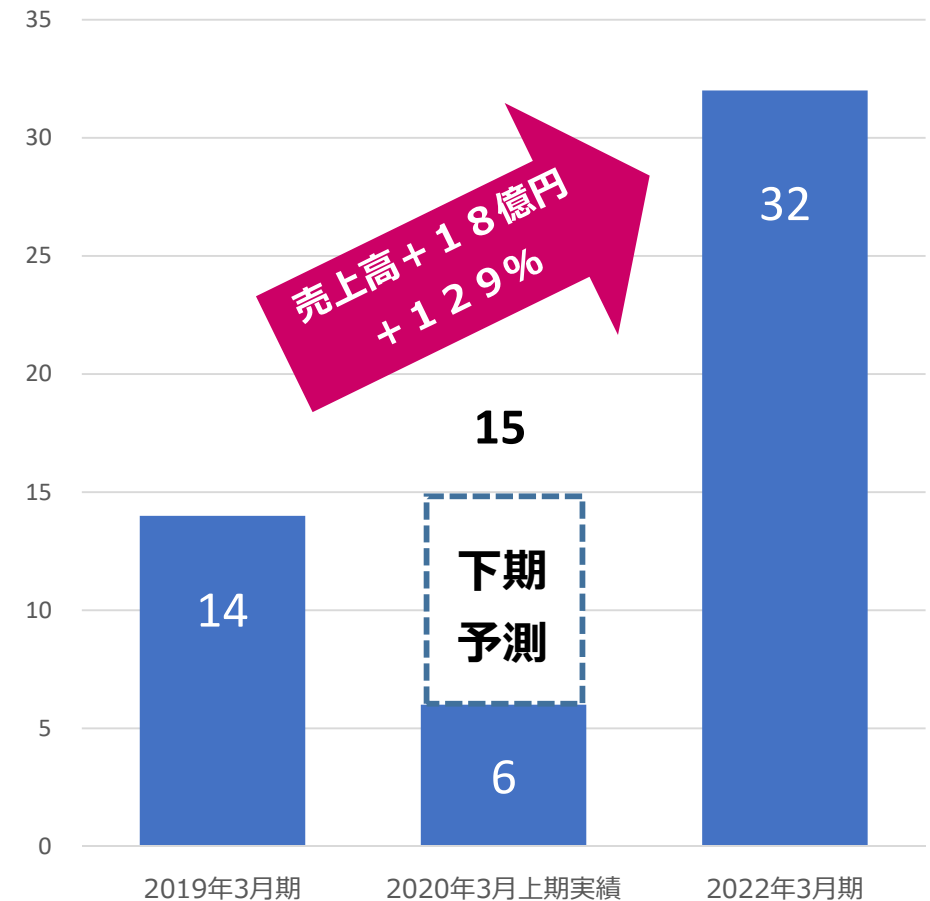
- ・モバイル5Gをターゲットに米・中・台市場攻略
- ・3Dスマホ、保護フィルム市場参入
- ・複合化技術で樹脂グレーシング用途開発開始
(高硬度+3D+AG+AR+高耐候+防曇)

産学共同推進

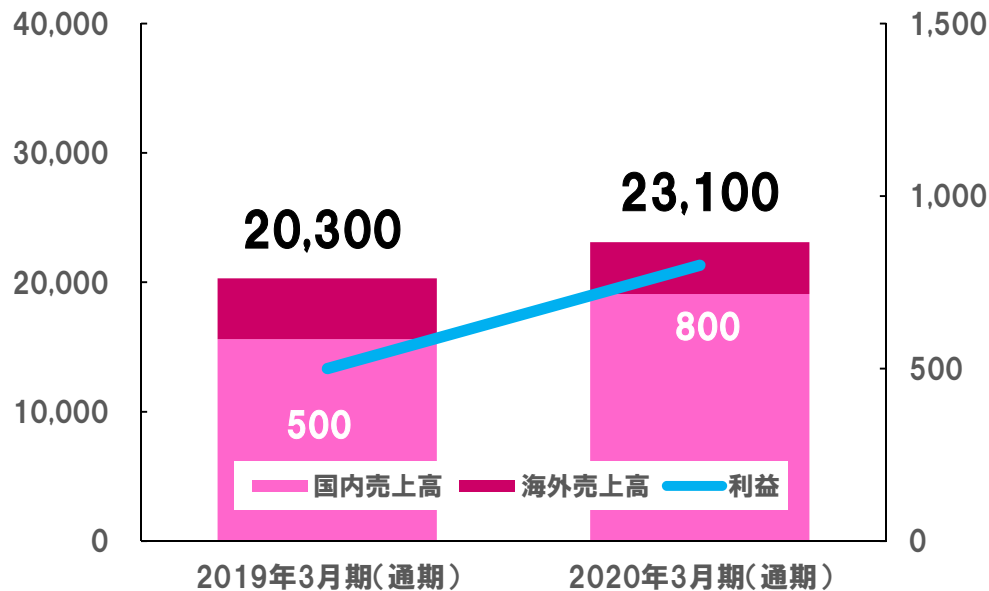
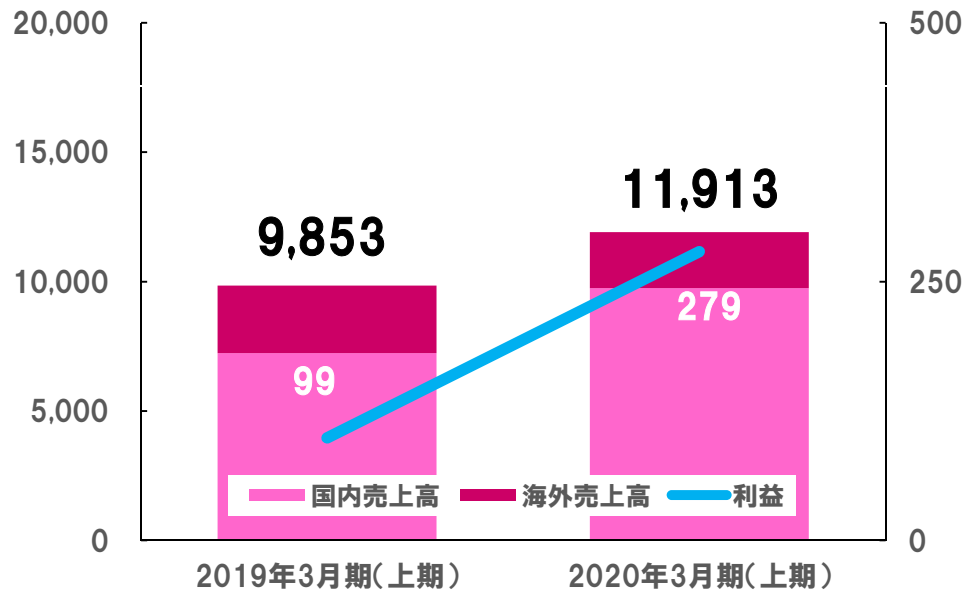
- ・科学技術振興機構(JST)A-STEP2019年度プログラム
「産学共同フェーズ：シーズ育成タイプFS」で再採択
- ・2019年10月から実施中～
- ・車載・産業市場向け製品開発の本格化

光学フィルム売上高

(億円)



IV Building & Construction (BC)



2020年3月期上期

2,059百万円増収

180百万円増益

前期比20.9%増

前期比180.8%増

- 国内では、昨年子会社化したデザイン会社の寄与及び非住宅市場の高意匠インテリアフィルムの拡販により増収
- 海外では、北米での建築用塩ビコンパウンド等の販売が落ち込み減収
- セグメント利益は、国内高付加価値品の数量増により増益

2020年3月期業績予想

2,800百万円増収

300百万円増益

前期比13.8%増

前期比60.0%増

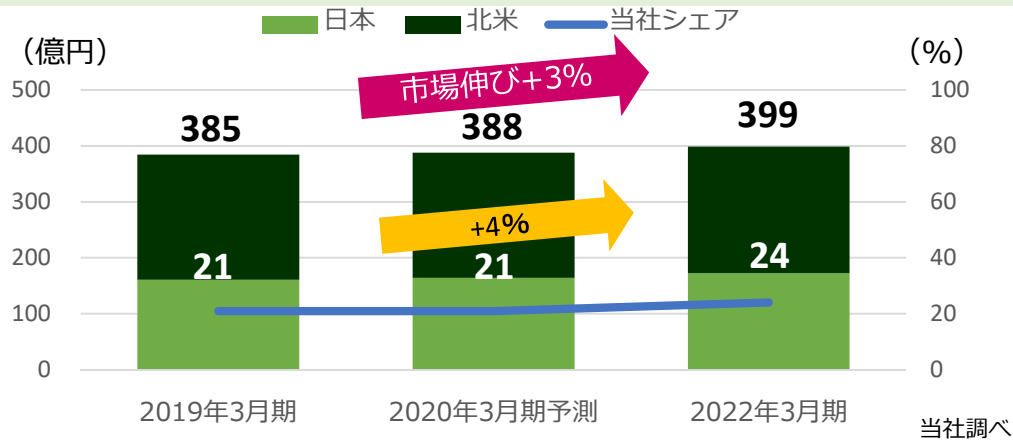
- 国内では、建築用塩ビコンパウンドの高品質を武器に拡販及びデザイン子会社を活用したインテリアフィルムの拡販
- 海外では、建築用塩ビコンパウンドの拡販

IV Building & Construction (BC)

重点分野① インテリア

市場動向 (予測)

日本・北米 家具/壁装フィルム市場



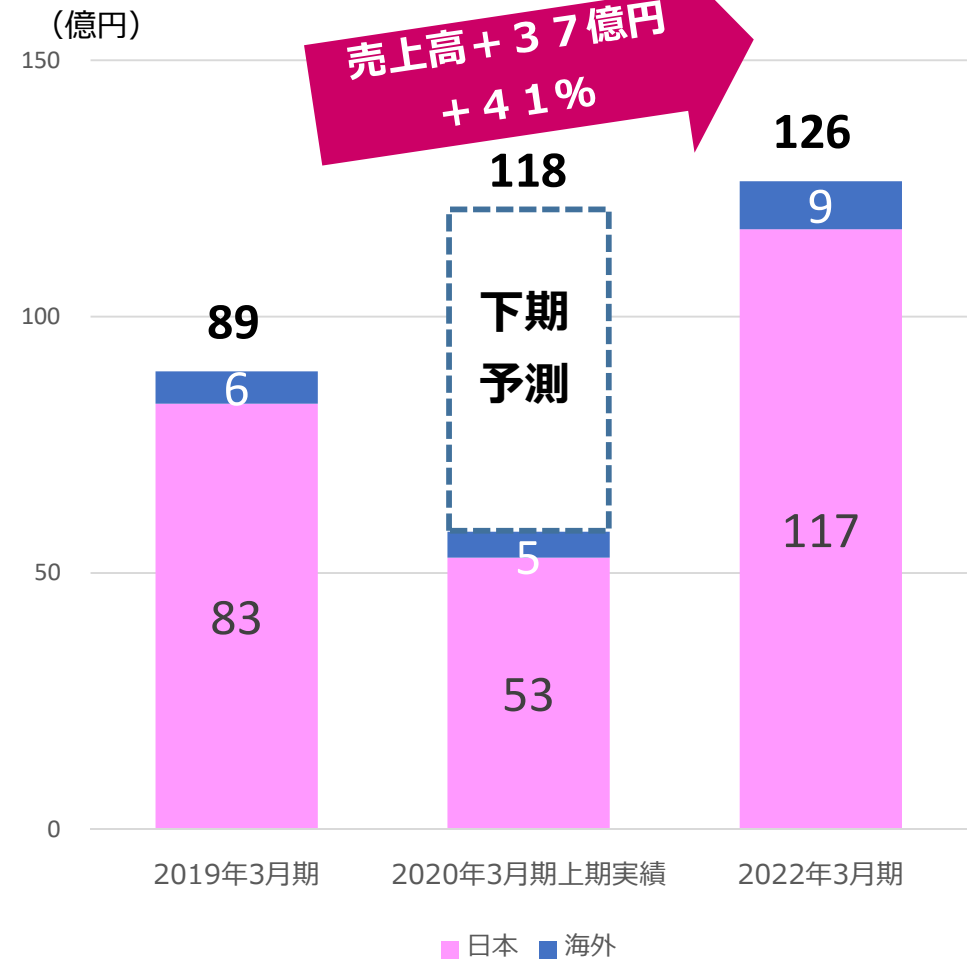
上期実績

- ・デザイン子会社の新製品を取り込み増収に繋げ、既存フィルムビジネスの高意匠化における協業体制を確立
- ・海外では、北米で新分野への拡販及びグローバルカタログと展示会を活用した意匠提案

今後の施策

- ・国内では、デザイン子会社を活用した水廻り及びインテリアでの新商品の拡販
- ・海外では、デザイン子会社を活用した新意匠の開発による新市場の開拓及び拡販

インテリアフィルム売上高



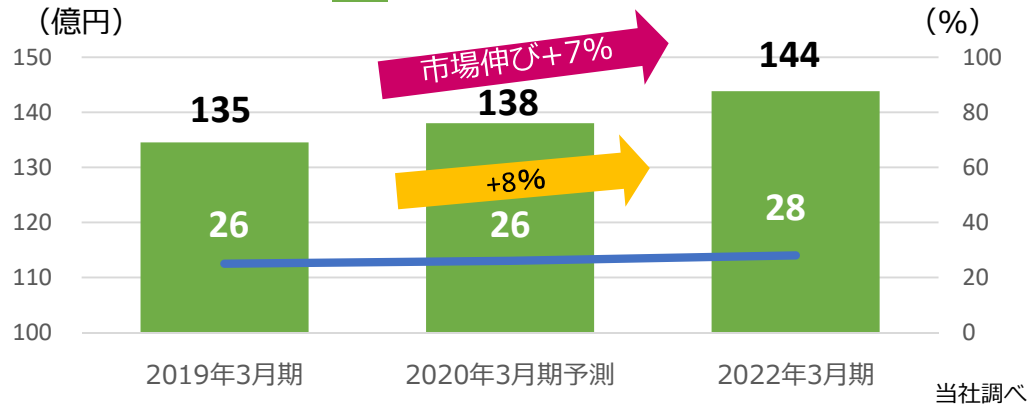
IV Building & Construction (BC)

重点分野② 住宅・建築資材

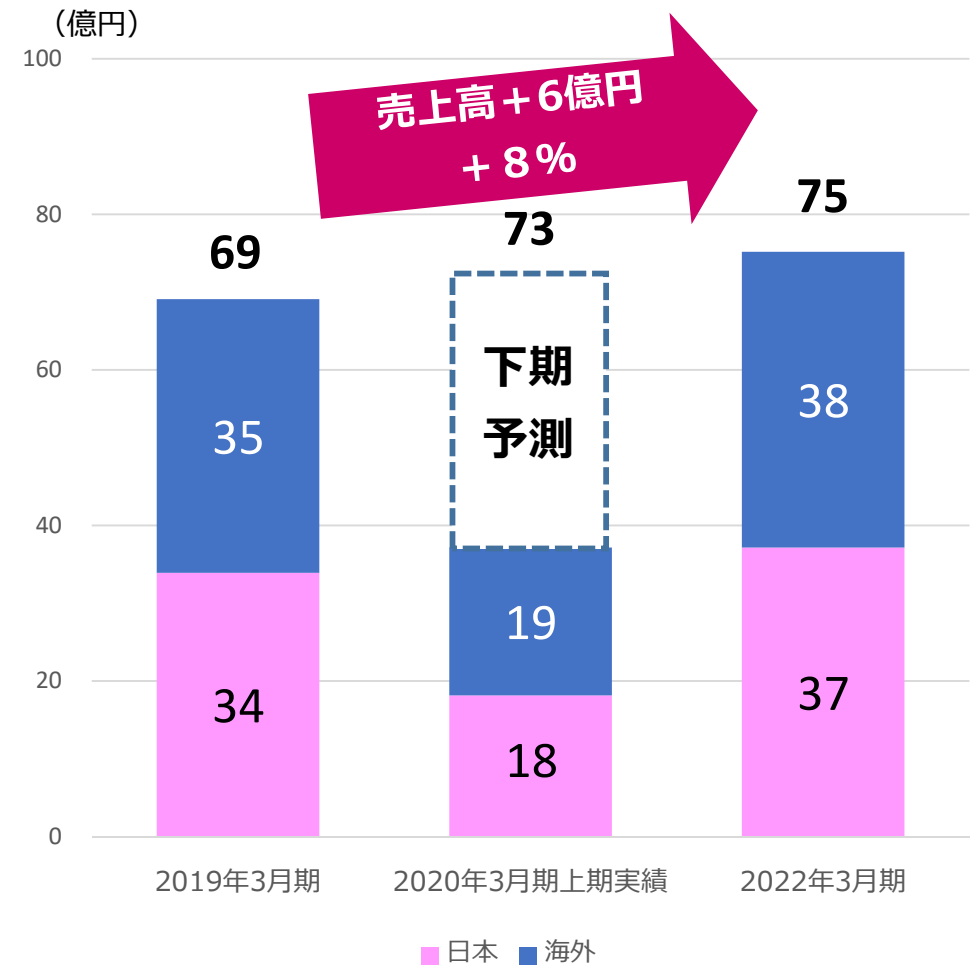
市場動向 (予測)

日本の住宅建築資材コンパウンド

■ 市場規模 ■ 当社シェア



住宅・建築資材コンパウンド売上高



上期実績

- ・国内における高付加価値品塩ビコンパウンドの拡販

今後の施策

- ・国内では、ハウスメーカーのZEH対応を狙った塩ビコンパウンドの拡販及び非住宅市場でのシェア拡大
- ・海外では、ASEANの日系顧客へ塩ビコンパウンドの拡販及び北米での新規顧客開拓

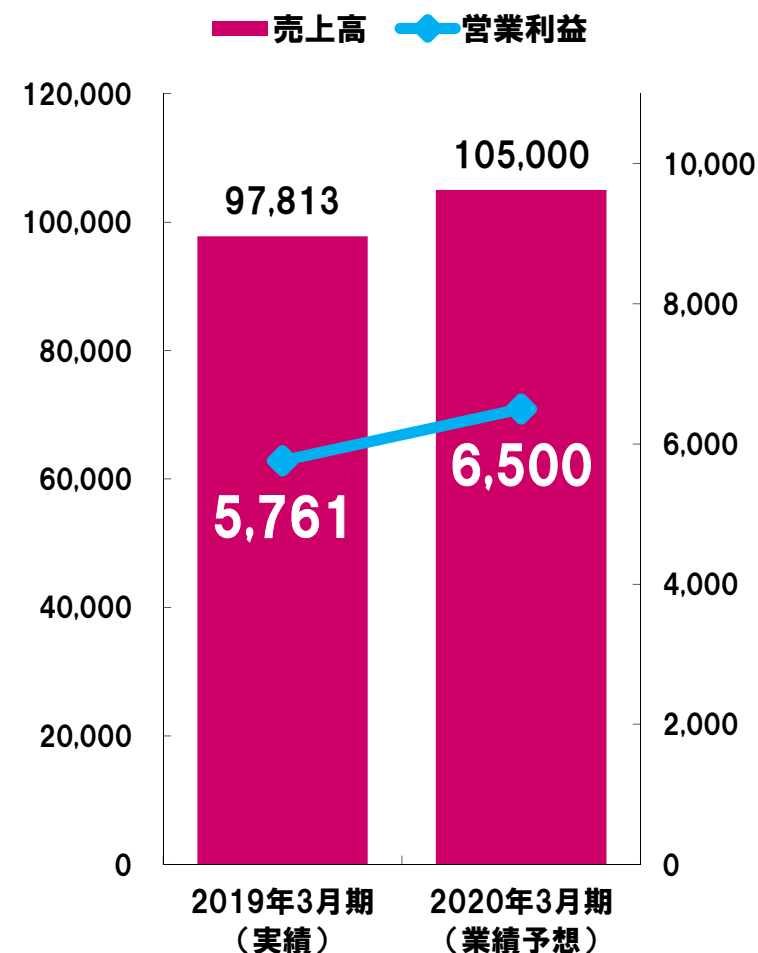
2020年3月期 連結業績予想

科 目	2019年 3月期実績	2020年 3月期業績予想	伸 び 率
売 上 高	97,813	105,000	+7.3%
営 業 利 益	5,761	6,500	+12.8%
経 常 利 益	5,869	6,500	+10.7%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,060	3,700	+20.9%
1株当り利益	47.43	56.95	+20.0%
R O S	5.9%	6.2%	+0.3%

【業績予想のポイント】

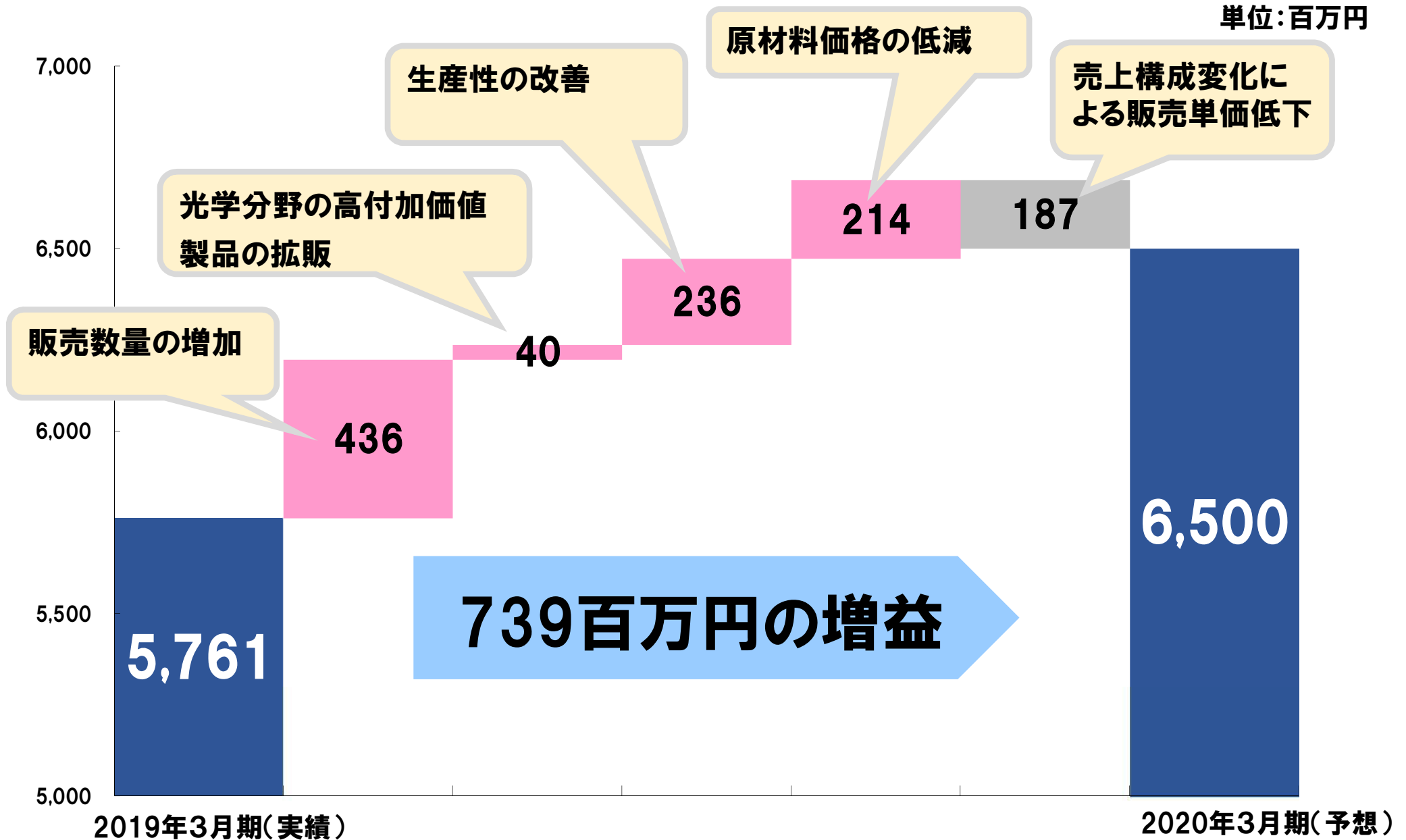
- 国内では、エネルギー・情報通信市場でのエラストマーコンパウンド、非住宅市場での高意匠インテリアフィルムの拡販、食品包材市場での拡販、及び昨年子会社化したデザイン会社の寄与等により増収
- 海外では、米国・インドネシアでの電線用コンパウンド、及びベトナム拠点の成長により増収
- 全体では販売数量増加に伴う生産性向上による増益を見込む

(単位：百万円、円)



2020年3月期（予想） 営業利益 増減要因分析

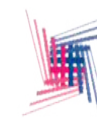
単位：百万円



3カ年中期経営計画進捗

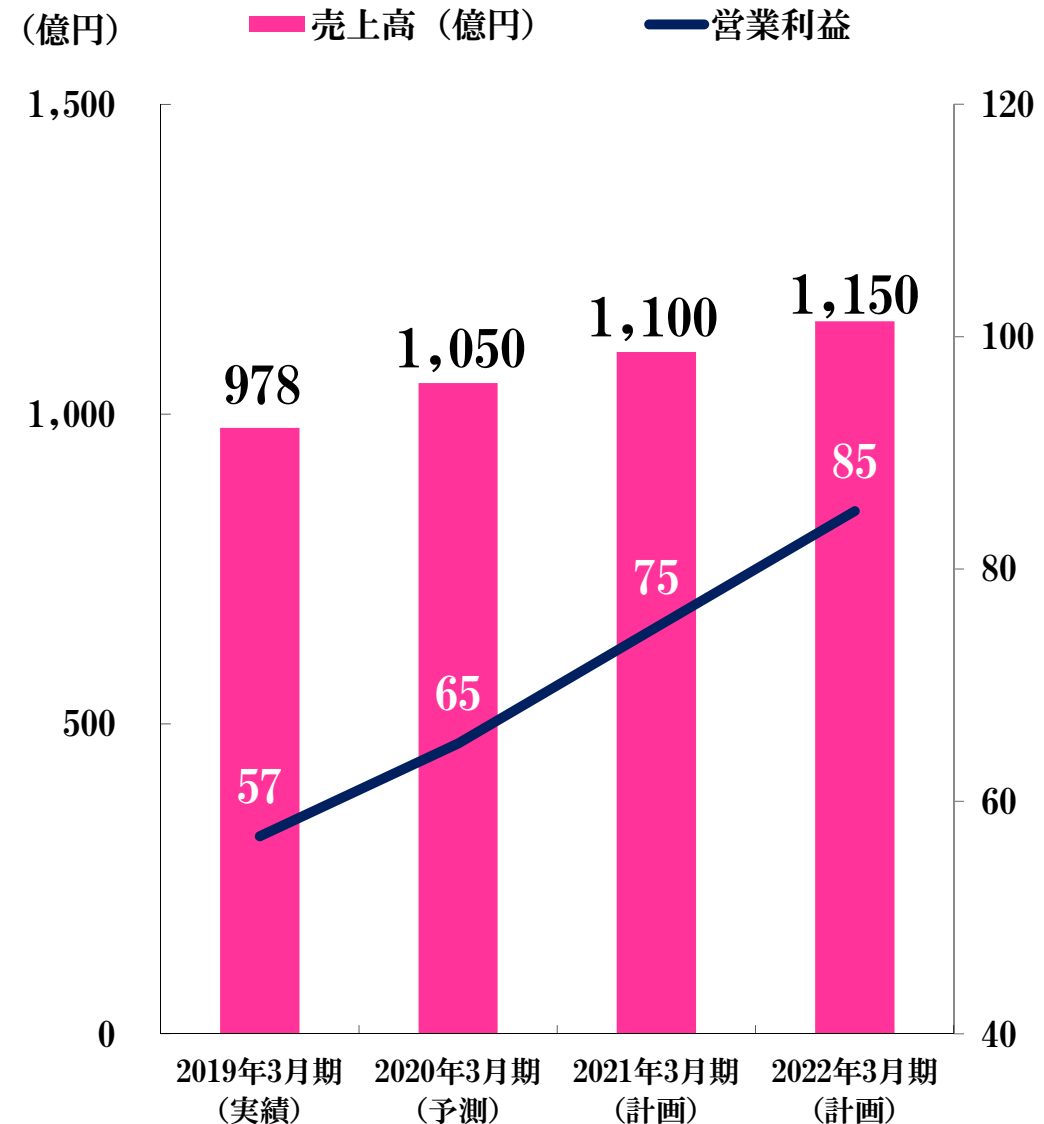


MORE VALUE TO ALL
2 0 2 1



計数計画

連結ベース	2019年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画最終年度)
売上高	978億円	1,150億円
営業利益	57億円	85億円
経常利益	58億円	85億円
当期純利益	30億円	50億円
ROS	5.9%	7.0%
ROE	6.4%	8.0%



前提条件 為替: ¥110/US\$ 国産ナフサ: ¥50,000/KL



5つの主要課題

1

・ **グローバル経営の深化とシナジー**

2

・ **戦略思考による収益力向上**

3

・ **効率を極めた生産体制の実現**

4

・ **サステナブルな社会への貢献**

5

・ **人材育成とガバナンス重視の経営による
企業体質の強化**

5つの主要課題

1

グローバル経営の深化とシナジー

海外拠点の経営のレベルの深化

グローバルにシナジーを発揮

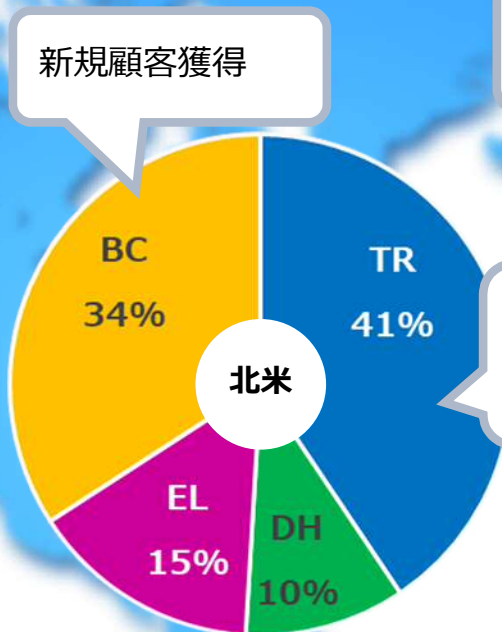
グローバル経営
を意識した
組織体制

グローバルマー
ケットに対応し
たセグメント

本部間・グロー
バル拠点間での
連携強化

地域別セグメント売上高比率と今後の戦略

※2020年3月期上期実績の単純合算での比率



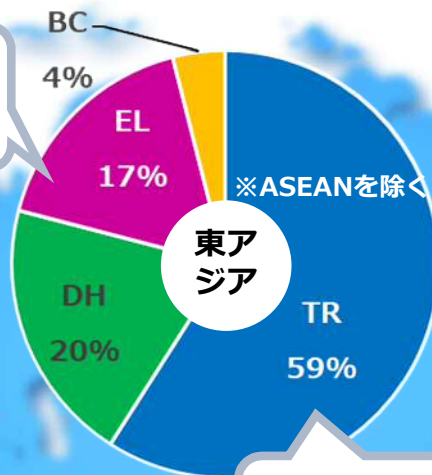
新規顧客獲得

EV高速充電ケーブルへの展開

W/Hの軽量化製品及びシール部材への拡販

インフラ系電力ケーブル向け拡販

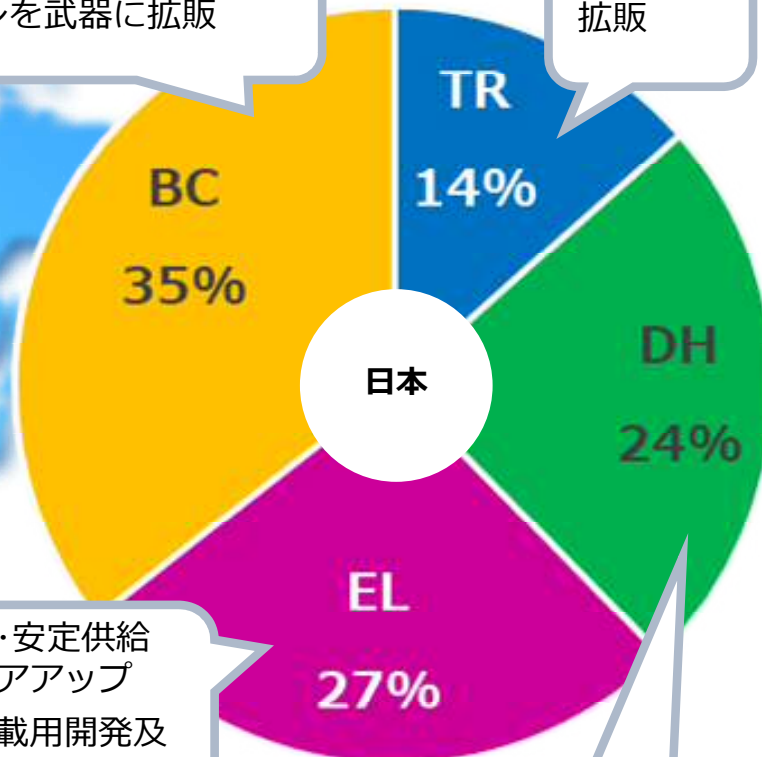
医療用の日系顧客への増産対応及び非日系顧客への拡販



エラストマーの市場開拓

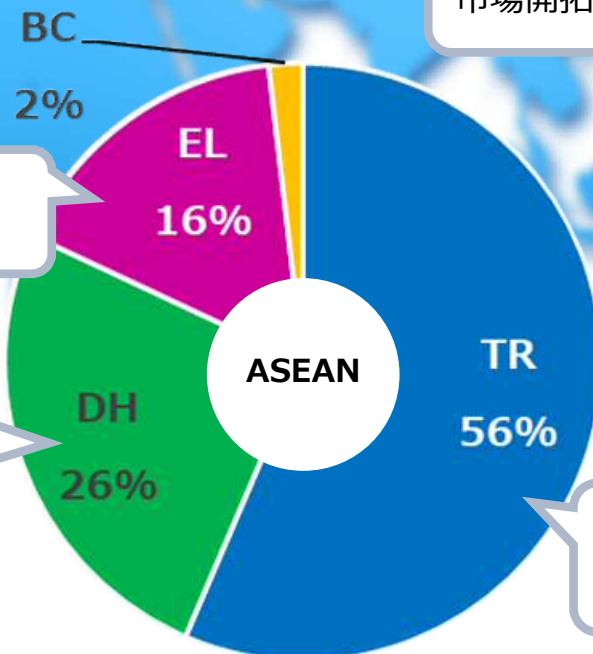
ZEHを狙った拡販及びデザインを武器に拡販

機能部材拡販



高品質・安定供給でシェアアップ
光学車載用開発及び上市

高付加価値製品と新規開発品の拡販



W/Hの軽量化製品及びシール部材への拡販

5つの主要課題

3

効率を極めた生産体制の実現

生産の効率化

上期実施事項

- 自動化/省人化設備の検討
- モデルラインでの設備予兆管理開始

今後の施策

- ～更なる低コストオペレーションの確立～
- 人員/工程/設備の抜本的見直し
 - ボトルネック解消による生産能力増強

グローバルでのもの造り強化

上期実施事項

- 生産管理指標の統一
- コスト管理項目の統一

今後の施策

- リケンスタンドの強化
- グローバル生産拠点のコストの適時可視化

5つの主要課題

4

サステナブルな社会への貢献



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

- ①グローバル経営の深化とシナジー
- ②戦略思考による収益力向上

3 すべての人に
健康と福祉を



グローバルに医療用製品を
提供



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



EV用の製品開発



- ③効率を極めた生
産体制の実現

6 安全な水とトイレ
を世界中に



化学物質と廃棄物
の適正な管理



- ④サステナブルな
社会への貢献

3 すべての人に
健康と福祉を



医療用材料の拡販
抗菌、抗ウイルス
などの高機能製品
の販売



- ⑤人材育成とガバ
ナンス重視の経営
による企業体質の
強化

1 貧困を
なくそう



継続的な支援



全主要課題共通のSDGs

17



パートナーシップで
目標を達成しよう

すべての主要課題をステークホルダーの皆さまとの
パートナーシップで解決してまいります。



設備投資

3年間での設備投資合計 計画:145億円

単位:億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2020年3月期 (予測)	国内エラストマー増設 タイ ITシステム更新 効率化設備投資	35	35	15
2021年3月期 (計画)	タイエラストマー増設 インドネシア塩ビ増設 研究開発センター増築 効率化設備投資	58	38	16
2022年3月期 (計画)	中国塩ビ増設 インドネシア塩ビ増設 効率化設備投資	52	36	16

設備投資

3年間での設備投資合計 計画:145億円



設備投資

研究開発センター増築 2020年8月完成予定

投資金額：7億円

規模：1.5倍

次世代を担う更なる新技術の開発を目指して



完成イメージ図

自己株式の取得について

自己株式取得（2019年7月31日決議）結果

取得理由

機動的な資本政策の遂行と資本効率の向上

取得に関する内容

取得した株式の総数 : 2,800千株

株式の取得価額の総額 : 1,353百万円

取得期間: 2019年8月7日～2019年10月31日

株主還元 ～配当金～

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2017年3月期	5.00	6.00	11.00	24.0	1.6
2018年3月期	6.00	6.00	12.00	28.8	1.6
2019年3月期	6.00	8.00	14.00	29.5	1.9
2020年3月期 (予想)	8.00	8.00	16.00	28.1	-

配当方針

連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、
今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、**安定的な配当**を行う

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見